



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンリオ

コード番号 8136 URL <http://www.sanrio.co.jp/corporate/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 信太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 江森 進

TEL 03-3779-8058

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	56,544	△1.7	14,281	25.8	14,058	37.1	11,336	69.7
23年3月期第3四半期	57,547	6.0	11,355	85.8	10,256	92.2	6,679	130.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 10,094百万円 (118.0%) 23年3月期第3四半期 4,629百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	128.17	126.12
23年3月期第3四半期	74.09	67.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	87,825	33,494	38.1
23年3月期	83,666	29,195	34.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 33,439百万円 23年3月期 29,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,400	△2.9	18,100	20.7	17,700	32.2	13,600	45.0	153.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	89,065,301 株	23年3月期	89,065,301 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	608,036 株	23年3月期	565,793 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	88,448,651 株	23年3月期3Q	87,687,373 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
B種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		225.50		225.50	451.00
24年3月期					

(注) B種優先株式は、平成23年8月16日に発行済株式総数240,000株の全株式を取得(強制償還)いたしました。なお、取得したB種優先株式の全てについて平成23年10月3日に消却いたしました。

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 継続企業の前提に関する注記	12
(4) セグメント情報等	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における世界経済は、欧州の信用不安が世界に広がり、新興国経済の減速がはっきりしてきました。一方の日本経済も、東日本大震災後の停滞を脱し回復途上にあります。長期化する円高による企業収益への影響から今後の回復の道への信頼が揺らぐ状況になってまいりました。

このような状況の中、中期計画にあるように当社グループは成長ドライバーとしての海外におけるライセンス事業の強化と国内事業全般の事業性の改善を図ることに注力いたしました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は565億円（前年同期比1.7%減）となりました。うち国内の売上高は349億円（同3.9%減）、海外売上高は、物販事業からライセンス事業へのシフト及び円高の影響を受けましたが215億円（同2.0%増）となり、海外売上高比率は前年同期比1.4ポイント上がり38.2%となりました。営業利益は堅調な国内外のライセンス事業の伸長や物販事業を中心とした事業性の改善を目指した経費削減効果により142億円（同25.8%増）となりました。

経常利益は、海外ロイヤリティの外国税額（源泉税）が増加しましたが、先物為替予約の活用により海外子会社からの売掛金回収などに伴う為替差損を補う為替差益が発生したことや貸倒引当金戻入額により140億円（同37.1%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、特別損失として株価下落に伴う投資有価証券評価損が発生しましたが、前年同期に計上した賃借店舗等やテーマパークの借地に係る資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額がなくなったこと等から137億円（同44.8%増）となり、四半期純利益は113億円（同69.7%増）となりました。

なお、すべての海外の連結子会社は12月決算であり、当第3四半期の対象期間は、2011年1月～9月であります。

〔報告セグメント〕

(単位：億円)

		売上高				セグメント利益（営業利益）			
		前第3 四半期	当第3 四半期	増減	増減率	前第3 四半期	当第3 四半期	増減	増減率
日本	物販その他	317	294	△22	△7.1%	63	88	24	38.0%
	ロイヤリティ	62	71	8	14.3%				
	計	379	366	△13	△3.6%				
欧州	物販その他	25	12	△13	△51.1%	38	34	△4	△10.5%
	ロイヤリティ	83	84	1	2.3%				
	計	108	97	△11	△10.4%				
北米	物販その他	11	11	0	0.2%	8	14	5	73.3%
	ロイヤリティ	25	38	13	50.7%				
	計	37	50	13	34.7%				
南米	物販その他	0	0	△0	△45.1%	1	1	0	3.0%
	ロイヤリティ	7	7	△0	△1.1%				
	計	7	7	△0	△5.5%				
アジア	物販その他	27	26	△0	△3.5%	5	7	1	28.2%
	ロイヤリティ	13	17	3	22.9%				
	計	41	43	2	5.4%				
調整額		—	—	—	—	△4	△2	1	—
連結	物販その他	383	346	△37	△9.7%	113	142	29	25.8%
	ロイヤリティ	192	219	27	14.0%				
	計	575	565	△10	△1.7%				

(注) 海外各地域の子会社は、ロイヤリティ収入相応の額を売上原価とし、著作権の保有者である日本の親会社は、それを売上高として計上しておりますが、連結上消去されるため上表の日本の売上高には含まれておりません。営業利益には含まれております。

① 日本：売上高366億円（前年同期比3.6%減）、営業利益88億円（同38.0%増）

国内物販事業及びテーマパーク事業が大震災や円高による海外観光客の減少に伴い売上が伸び悩んだことから減収となりました。しかしながら、国内事業における事業性の見直し策によって、原価率の低下及び経費の削減がなされ、さらに北米を中心とした海外子会社から受取るマスターラ

イセンス収入が大幅に増加したことから大幅増益となりました。

その主な要因は、北米のライセンス収入増により、円高の影響を受けつつも円貨ベースでも増収を維持し、加えて国内ライセンス事業も堅調に推移したことによります。国内物販事業は、海外ツーリストの減少により売上は伸び悩みましたが、利益面では、効率的な人的配置換えや商品在庫の圧縮による不動産在庫の減少、直営店の退店や事業部統合による経費等を削減したことから採算性は向上しました。なお、当社国内の既存店の売上高（直営店及び百貨店の当社直営ショップベース）は前年同期比90.5%でした。

テーマパーク事業は、2億円の営業損失となり前年同期比で若干の改善となりました。サンリオピューロランドでは大震災の影響による海外ツーリストの大幅な減少及び当社の個人株主の減少によって株主優待券による集客減が影響しましたが、大分県のハーモニーランドは開園20周年として夏休みにはブラックワンダー（回遊型イベント）とプールを導入、そして9月中旬から前年よりパワーアップして2カ月前倒して開催したイルミネーションがクリスマスシーズンではさらに人気を博しました。サンリオピューロランドの入場者数は584千人（前年同期比38千人減）、売上高は28億円（同6.1%減）でした。ハーモニーランドの入場者数は307千人（同44千人増）、売上高は11億（同9.9%増）となりました。

その他事業では、ロボット製作事業は回復傾向で黒字に転換し、0.6億円の営業利益となりました。

② 欧州：売上高97億円（前年同期比10.4%減）、営業利益34億円（同10.5%減）

欧州は欧州債務危機が欧州全体の消費環境を厳しいものとしましたが、そのような環境の中で、引き続きライセンス事業を積極的に展開したことにより1～9月の期間におけるライセンスによる売上高は、現地通貨ベースで前年同期比6.8%増となりました。しかしながら大幅な円高のため円貨ベースでは2.3%増に止まりました。一方、引き続き物販事業は戦略的にライセンスにシフトする方針のもとライセンス取引に切り替えていることから現地通貨ベースで48.9%の大幅な減収となりました。減益の要因は、物販の売上減と円高によるものであります。

③ 北米：売上高50億円（前年同期比34.7%増）、営業利益14億円（同73.3%増）

当四半期の大幅な増収増益の要因は、6月のバックトゥースクール商戦からスタートした大手スーパーマーケットチェーン向けのライセンスがカテゴリーの広がりおよびボリュームの増加を伴って好調に進んでおり、加えてアパレル、雑貨類、化粧品、宝飾品などその他既存のほとんどの大手ライセンスも前年同期の水準を大幅に上回ったことによります。現地通貨ベースにおいて、ライセンス売上高は前年同期比65.5%もの伸びを達成、円貨ベースでも前年同期比10%強の円高にもかかわらず50.7%の増収となりました。物販事業については0.2%の増収となりました。増益の要因は、ライセンス事業の大幅な増収によるものであります。

④ 南米：売上高7億円（前年同期比5.5%減）、営業利益1.2億円（同3.0%増）

ブラジルは主力ライセンスが伸び悩んだことと円高により減収となりましたが、アルゼンチン、チリ、ベネズエラ、コロンビアなどラテン地域においてライセンスが大幅に伸びたことから、現地通貨ベースでは、0.3%の増収、8.7%の増益でした。

⑤ アジア：売上高43億円（前年同期比5.4%増）、営業利益7億円（同28.2%増）

アジアにおいては、まず、中国では、大人カジュアル衣料のライセンスが大きく伸びて、さらに携帯電話関連や食品等の新規のライセンスも上乘せされ、大幅な増収増益となり、アジア地域全体の利益を押し上げました。韓国では、市場自体は順調に成長しておりシューズ、カー用品などのライセンスが伸びて増収増益となりました。香港では、物販が欧州向けの製造輸出は大幅に減少しましたが、堅調な雑貨ギフト関連に加えてイベントや食品関連のライセンスが大幅に伸びました。円高の影響を補い切れず減収となりましたが、経費の削減もあり増益となりました。台湾では、コンビニ向けのプロモーションイベントや文房具関連のライセンスが伸び、経費も減少して営業利益ベースでは大幅増益となりました。

参考： 海外子会社 売上高・営業利益（現地通貨ベース：連結消去前個別財務諸表数値）

	売上高			営業利益
	ロイヤリティ	物販	計	
欧州 千EUR	75,169	11,155	86,324	30,693
(前期比増減%)	6.8	△48.9	△6.4	△5.8
北米 千USD	48,464	17,247	65,711	17,533
(前期比増減%)	65.5	0.4	41.4	93.3
南米 千BRL	14,413	901	15,314	2,458
(前期比増減%)	5.0	△42.0	0.3	8.7
香港 千HKD	56,157	271,840	327,997	42,671
(前期比増減%)	21.8	△5.6	△1.8	15.7
台湾 千NTD	178,181	36,868	215,050	18,709
(前期比増減%)	9.5	50.3	14.9	230.1
韓国 千KRW	427,325	2,146,869	2,574,194	703,159
(前期比増減%)	△16.7	42.6	27.5	182.8
上海 千CNY	50,860	1,015	51,875	16,406
(前期比増減%)	78.2	116.8	78.9	107.9

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は878億円で前連結会計年度末比41億円増加いたしました。資産の部の主な増加項目は現金及び預金の20億円、受取手形及び売掛金19億円及びキャラクター事業会社の買収に伴う等、無形固定資産の増加27億円で、主な減少項目は、投資有価証券や長期貸付金等の減少による投資その他の資産その他の減少24億円です。

負債の部は543億円で1億円減少いたしました。主な増加項目は長短借入金・社債（1年内含む）4億円です。主な減少項目は賞与引当金2億円、退職給付引当金3億円です。

純資産の部は、主に自己株式（B種優先株式）の消却による資本剰余金26億円の減少、四半期純利益による増加113億円と、配当金支払27億円による減少で利益剰余金が86億円増加、為替換算調整勘定のマイナス額の増加による12億円の減少と、自己株式の取得等による増加4億円等により、334億円と42億円増加いたしました。自己資本比率は38.1%と前連結会計年度末比3.2ポイント増加いたしました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績については、今後期末に向けての為替レートや欧州の景気動向等の不透明要因があるものの、北米のライセンス事業の高成長や国内事業の改善を考慮し、通期の連結業績予想を以下のように増額修正いたします。

平成24年3月期通期連結予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成23年10月28日発表）	73,200	17,800	16,900	13,000	147.03
今回修正予想（B）	74,400	18,100	17,700	13,600	153.75
増減額（B－A）	1,200	300	800	600	-
増減率（%）	1.6	1.7	4.7	4.6	-
ご参考：前期実績 （平成23年3月期通期）	76,625	14,996	13,387	9,380	104.76

※前提条件 第4四半期の想定為替レート 76円/USD 100円/EUR

(参考)

海外地域別損益～第3四半期の3期推移

(単位：百万円)

地域		外部顧客に対する売上高					営業利益				
		H21/12	H22/12	増減率 (%)	H23/12	増減率 (%)	H21/12	H22/12	増減率 (%)	H23/12	増減率 (%)
北米	米国	3,427	3,780	10.3	5,092	34.7	526	815	54.9	1,414	73.3
南米	ブラジル	706	793	12.3	749	△5.5	261	117	△55.1	121	3.0
アジア	香港	2,429	3,076	26.6	2,937	△4.5	225	435	93.3	441	1.2
	台湾	495	503	1.7	585	16.2	△7	15	—	51	224.2
	韓国	93	147	57.5	181	23.1	12	19	49.2	51	170.2
	中国	263	385	46.2	631	63.6	35	111	217.5	202	81.2
小計		3,281	4,113	25.3	4,336	5.4	265	582	119.1	746	28.2
欧州	欧州	8,006	10,882	35.9	9,756	△10.4	2,591	3,876	49.6	3,469	△10.5
合計		15,421	19,570	26.9	19,934	1.9	3,645	5,392	47.9	5,751	6.7

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期中における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、当社は、平成23年12月1日、英国ロンドンにキャラクターの買収及びグローバルライセンス事業を目的としたSanrio Global Ltd.（連結子会社）を新設し、平成23年12月5日、当該会社を通じて、英国の著名キャラクター『MR. MEN AND LITTLE MISS』のライセンス事業を行うMister Men Ltd.（連結子会社）の発行済全株式を取得しました。

なお、当四半期連結累計期間においては、当該株式取得日における貸借対照表のみ連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,132	23,183
受取手形及び売掛金	10,411	12,358
商品及び製品	3,415	3,760
仕掛品	20	55
原材料及び貯蔵品	212	324
その他	5,107	4,909
貸倒引当金	454	141
流動資産合計	39,845	44,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,178	6,675
土地	10,815	10,755
その他(純額)	1,167	1,066
有形固定資産合計	19,161	18,497
無形固定資産	338	3,110
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,931	5,694
その他	19,514	17,058
貸倒引当金	1,221	1,138
投資その他の資産合計	24,224	21,614
固定資産合計	43,724	43,221
繰延資産	96	152
資産合計	83,666	87,825
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,566	6,586
短期借入金	18,034	14,233
未払法人税等	1,000	894
賞与引当金	370	90
返品調整引当金	62	84
その他	8,722	8,841
流動負債合計	34,755	30,730
固定負債		
社債	5,184	7,102
長期借入金	5,324	7,954
退職給付引当金	6,779	6,414
役員退職慰労引当金	429	444
債務保証損失引当金	199	85

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
その他	1,798	1,598
固定負債合計	19,715	23,600
負債合計	54,471	54,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	6,147	3,489
利益剰余金	20,953	29,582
自己株式	637	1,074
株主資本合計	36,463	41,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	973	1,004
繰延ヘッジ損益	21	11
為替換算調整勘定	6,310	7,542
その他の包括利益累計額合計	7,305	8,558
新株予約権	-	7
少数株主持分	36	47
純資産合計	29,195	33,494
負債純資産合計	83,666	87,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	57,547	56,544
売上原価	23,135	20,147
売上総利益	34,411	36,396
返品調整引当金繰入額	-	22
返品調整引当金戻入額	28	-
差引売上総利益	34,439	36,374
販売費及び一般管理費	23,084	22,093
営業利益	11,355	14,281
営業外収益		
受取利息	221	255
為替差益	-	189
貸倒引当金戻入額	-	242
その他	223	268
営業外収益合計	445	956
営業外費用		
支払利息	440	394
租税公課	505	555
為替差損	365	-
その他	231	229
営業外費用合計	1,543	1,179
経常利益	10,256	14,058
特別利益		
固定資産売却益	18	25
投資有価証券売却益	5	44
貸倒引当金戻入額	270	-
債務保証損失引当金戻入額	-	19
その他	-	0
特別利益合計	293	89
特別損失		
減損損失	244	47
投資有価証券評価損	98	257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	426	-
貸倒引当金繰入額	222	2
その他	46	67
特別損失合計	1,038	374
税金等調整前四半期純利益	9,511	13,773
法人税、住民税及び事業税	1,830	2,325
法人税等調整額	990	96
法人税等合計	2,820	2,422
少数株主損益調整前四半期純利益	6,691	11,350
少数株主利益	11	13
四半期純利益	6,679	11,336

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,691	11,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	455	30
繰延ヘッジ損益	22	9
為替換算調整勘定	1,629	1,234
その他の包括利益合計	2,062	1,256
四半期包括利益	4,629	10,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,620	10,083
少数株主に係る四半期包括利益	8	10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	北米	南米	アジア	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	37,976	10,882	3,780	793	4,113	57,547	—	57,547
(うちロイヤリティ売上高)	(6,244)	(8,305)	(2,583)	(712)	(1,393)	(19,239)	(—)	(19,239)
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,687	14	364	—	800	7,866	△7,866	—
(うちロイヤリティ売上高)	(6,576)	(12)	(32)	(—)	(26)	(6,647)	(△6,647)	(—)
計	44,664	10,897	4,145	793	4,913	65,414	△7,866	57,547
セグメント利益	6,390	3,876	815	117	582	11,782	△427	11,355

- (注) 1. セグメント利益の調整額 427百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能営業費用であり、配賦不能営業費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「日本」セグメントにおいて、遊休資産等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、244百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	北米	南米	アジア	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	36,609	9,756	5,092	749	4,336	56,544	—	56,544
(うちロイヤリティ売上高)	(7,135)	(8,495)	(3,892)	(704)	(1,712)	(21,940)	(—)	(21,940)
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,558	0	186	4	464	8,214	△8,214	—
(うちロイヤリティ売上高)	(7,490)	(0)	(0)	(4)	(17)	(7,513)	(△7,513)	(—)
計	44,167	9,757	5,279	753	4,800	64,758	△8,214	56,544
セグメント利益	8,816	3,469	1,414	121	746	14,568	△286	14,281

- (注) 1. セグメント利益の調整額 286百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能営業費用であり、配賦不能営業費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「日本」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、47百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月に普通株式200,000株を673百万円、平成23年8月16日に発行済B種優先株式総数240,000株の全株式を2,608百万円で取得し、平成23年10月3日に取得したB種優先株式の全てについて消却を行っております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,489百万円、自己株式が1,074百万円となっております。